

# 景観いわき 第8号

令和元年10月発行



「景観いわき」は、市内の景観について、市民のみなさんに知っていただくため、また、考えていただくことを目的に発行しています。

この号では、昨年度の景観セミナーの開催状況についてお知らせします。

## 平成30年度景観セミナー

「景観セミナー」は、市民の皆様幅広く景観まちづくりの必要性を認識していただき、景観のあり方を考えるきっかけとしていただくため開催しています。

平成30年度の「景観セミナー」は、平成30年12月15日（土）に常磐公民館で開催しました。

「歩きたくなる温泉街の景観とは」をテーマに、日本大学工学部専任講師である市岡綾子先生に講演いただきました。

土湯温泉や道後温泉など、県内外の温泉地の取り組み事例の紹介は、いわき湯本温泉街の景観まちづくりの参考となるものでした。

《講演の主な内容》

○ 「景観」が持っている意味 ⇒ 「景」と「観」を分けて考えてみる。

「景」⇒ 「景色」・「風景」・「眺め」

自然風景や建物のデザインなど「見られる側」の立場

「観」⇒ 「観察」・「観測」

「きれい」「すごい」など「見る側」の立場

○ 歩いて巡る温泉街の魅力 ⇒ 歩く魅力 + 巡る魅力

・歩きたくなる楽しさ ・何かを見つける楽しさ ・安心して歩ける楽しさ

○ 「温泉神社」や「御幸山公園」など「いわき湯本温泉」にある地域資源について



歴史的資源の「温泉神社」  
境内には温泉が湧き出ています。



湯本の街を一望できる「御幸山公園」  
園内にはソメイヨシノが植栽され  
春にはお花見もできます。

## 【景観セミナー受講の感想】（抜粋）

- 温泉神社や湯本の温泉街について新たな魅力を知ることができ参考になった。
- これから温泉神社、御幸山公園を歩いてみたいと思った。
- 地元に住んでいると「あたりまえ」のように思っていることが他から見ると違って見えている。湯本温泉の良さを再確認できてとてもよかった。
- セミナーで先生が色々素敵な所を説明していたので改めて多くのことを気づくことができた。
- 湯本の町をよく見てくれており、ありがたかった。昔はそれぞれ祭りや行事がありとてもにぎわっていたことを思い出し懐かしく思った。
- あるものを活かして、さらに観光客が楽しめる、そして地元の人にも楽しめる景観のまちづくりをみんなが協力してできたらよいと思った。



景観セミナーは、今後も開催しますので、皆様のご参加をお待ちしています。

## 10月4日は都市景観の日

毎年10月4日は、国土交通省が定めた「都市景観の日」です。

皆さんも、自然やくらしのなかにある景観について、

色々考えてみましょう！

「景観いわき」では、みなさんのお勧めする景観を

掲載させていただきたいと考えておりますので、是非ご紹介ください。

写真等のデータにつきましては、

以下のメールアドレスまで送信ください！



〔編集・発行〕いわき市 都市建設部 都市計画課 景観係  
Tel 0246-22-7512 fax 0246-24-4306  
Email toshikeikaku@city.iwaki.lg.jp



いわき市